

氏名	錦 織 恭 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 1310 号
学位授与の日付	平成7年 3月25日
学位授与の要件	医学研究科 外科系産科婦人科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	The Change of Membrane Complement Regulatory Protein in Chorion of Early Pregnancy (妊娠初期絨毛における補体制御因子の発現およびその変化)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 赤木 忠厚 教授 岡田 茂

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

近年発見された DAF (decay accelerating factor), MCP (membrane cofactor protein), CD59 は、細胞膜上に存在し補体活性を阻害する。そして、これらは自らが存在する細胞にのみ機能し、自己の細胞を補体活性から守る機能を有する。本研究は、妊娠初期の絨毛組織における補体系の活性化と、その防御機構の検討を目的とし、MCP, DAF, CD59 および MAC (membrane attack complex) の絨毛組織での分布を間接蛍光抗体法による組織染色を行い検討した。

その結果、trophoblast cell における MAC 形成の抑制と、妊娠週数または部位による MCP, DAF, CD59 の発現に差を認めた。これは、補体制御因子の発現が trophoblast または母体成分との接触と深く関係しているためと考えられた。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、妊娠初期の絨毛組織における補体制御因子の発現を検討したものである。この結果、合体絨毛細胞膜上に MCP および CD59 分子の強い発現を認め、これらの分子による補体系の制御の機構を示唆している。この知見は、母体の胎児に対する免疫反応と妊娠の成立を考慮する上で重要であり、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。